

MICROSOFT INTUNE 統合

企業のITリソースアクセスにシームレスな認証を実現

概要

DigiCert® Trust Lifecycle Managerは、デジタル証明書書をMicrosoft Intune(クラウドベースのモバイルデバイス管理(MDM)およびモバイルアプリケーション管理(MAM)サービス)と統合し、企業がデバイスやデータの使用方法を管理するために使用します。

この統合により、Intuneにより登録・管理されているモバイルデバイス、ワークステーション、デスクトップは、ユーザー名、パスワード、アクセス用のトークンを必要とせずに、企業のアプリケーションやリソースの接続時に認証されます。

Trust Lifecycle Managerは、事前設定された証明書テンプレートにより、証明書の申請、更新、失効の自動化し、証明書のライフサイクル管理をさらに合理化します。

事前設定されたテンプレート

Microsoft Intuneのデバイス認証

モバイルデバイスやワークステーションが企業ネットワークやWiFiなどのリソースに接続する際の認証に使用します。

Microsoft Intuneのユーザークライアント認証

モバイルアプリケーションや企業リソースアクセス時のユーザー認証に使用します。

Microsoft Intune用にあらかじめ設定された証明書テンプレートにより、ユーザーやデバイスの認証に必要なデジタル証明書の発行を効率化します。

証明書ライフサイクルの自動化

DigiCert Trust Lifecycle Managerは、証明書のライフサイクルを自動化し、管理者のオーバーヘッドを削減し、証明書の有効期限切れや人的ミスによるビジネスの中断を防ぎます。

登録申請 – 一般的に使用されている登録申請標準であるSCEP(Simple Certificate Enrollment Protocol)を利用して、証明書の発行を自動化します。

更新 – 残りの証明書有効期間に対する設定可能な閾値に基づき、更新を自動化します。

失効 – Intuneポータルで管理されるリクエストキューから証明書の失効を自動化します。失効するたびに証明書失効リスト(CRL)が更新され、Intuneポータルに通知が返されます。

もっと詳しく知る

Trust Lifecycle ManagerとMicrosoft Intuneの連携については、[こちらをご覧ください。](#)

